

近年多くの医療分野で性差医療 (gender specific medicine) が注目されている。男女の生物学的多様性 (gender diversity) は、ホルモン環境や寿命の差だけでなく、個々の疾病病態の差にも関与する。また、疾病病態の男女差は社会的・経済的要因などの gender gap から生じる。性差医療には医療と社会の両面からのアプローチが必要といわれる。

残念ながら透析医療において gender diversity が十分に理解あるいは配慮されているとはいえない。たとえば、透析導入患者数は男性が2倍以上多いが、その理由は定かでない。糖尿病性腎症による透析導入症例は男性が多いが、糸球体腎炎による透析導入症例は女性が多い。これもその理由は定かとはいえない。透析関連ガイドラインでは、

食事療法以外は男女別の目標値の記載はない。これは、男女別の解析データが不足しているからかもしれない。本来は男女別の目標値があつて当然である。また gender gap に通じる就労、介護、家事などの差異も透析医療の成績に影響するはずである。しかし、詳細な解析は少ない。そして、透析スタッフの gender diversity も忘れてはならない問題である。

この特集を読者の方が手に取り、まず透析医療のさまざまな gender diversity に気づき、その原因究明と対策がどこまで進んでいるか理解し、今後少しでも性差医療への関心を寄せていただければうれしい。

(西 慎一)

2022 年 (Vol. 38) 特集のご案内

- | | |
|--|-----------------------------------|
| No.① 透析患者の心臓病—診療の最前線を学ぼう | No.⑧ もっと知ろう 透析室での腎移植問題—腎移植と透析の移行期 |
| No.② 腎性貧血治療の課題と対策—HIF-PH 阻害薬, ESA, 鉄剤をめぐって | No.⑨ 痛みを訴える透析患者にどう対応するか |
| No.③ 多職種連携による透析医療 | No.⑩ 透析医療の gender diversity |
| No.④ 便秘と慢性腎臓病・透析医療 | No.11 腎不全に携わる看護職のキャリアを支援する |
| No.⑤ 透析療法における各種モニタリングの Front line | No.12 透析患者の栄養状態と生活評価 |
| No.⑥ CKD 診療における漢方と補完代替療法 | (既刊は○) |
| No.⑦ バスキュラーアクセスの作製・管理・修復の基本方針〔増刊号〕 | |

臨牀透析® Vol.38 No.10

© 2022 年 9 月 10 日発行
定価：2,860 円
(本体 2,600 円 + 税 10%)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <https://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2022, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541